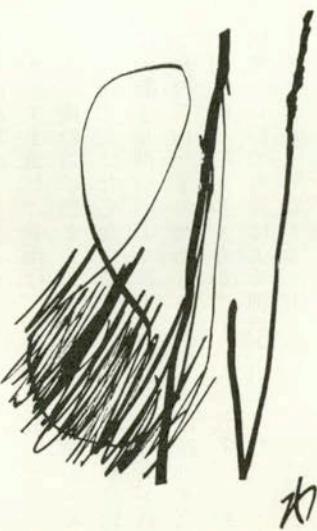


# 戦前の神戸

白井鉄造  
え・津高和一



戦前の神戸の話といつても、昭和の初期のことだけれど、トーア・ロードと元町が神戸の代表的な商店街で、神戸人はもちろん、神戸を訪れる人は誰でもトーア・ロードと元町を歩いて、神戸を感じた街である。

トーア・ロードは今はその頃のような特異な感じの街ではなくなったけれど、以前は外国人経営の店や、外人向きの商店が並んでいて華やかで、ちょうど外国の街へ行ったような街であった。

私はいつもそれらの家具を見る度に買いたいと思うものがたくさんあったのだが、私の家が洋間ばかりではなかつたし、部屋も小さいので道具が大きすぎて、私はいつも欲しいなと思って見て通つていたので、今でもそれらの店は、宝物が一杯並べてあつたような豪華な思い出である。

元町も今は昔の元町のカラーは薄れたが、トーア・ロードより日本の眼かさで、東京の銀座に比べて、元町を歩いた。

私が、トーア・ロードで印象に残っているのは二、三軒あつた家具の店である。大きな店に一杯

もない、新しい、ハイカラな品物があつて、ここ

も東京人がわざわざ買物に来たりした。

その時分は外国からの観光客は皆船旅だけの時代だったので、神戸は外人客で賑やかで、元町も外人観光客相手の店も多く、異国情緒を持った港である。

阪急電車が神戸市内に乗り入れて三宮に進出したのが昭和十一年で、それから三宮が新しい繁華街になつたために、神戸は、賑やかな街が、広く大きくなつたけれども、どこも皆同じような店の街になり、外人客も昔ほど多くなくなつたことにもよるのか、元町はかつての、元町だけの持つていたカラーがなくなつたように思う。

そして、三宮に映画館がたくさん出来たし、東京や外国からの一流芸能人の出る立派な会館も出来たので、それらのために我々も神戸へ出かけても、いつも三宮界隈だけことたりてしまつてそこまで足をのばす機会がない。

以前の三宮は、トーア・ロードと元町への入口というだけの、場末のような町で、その時分はもつと広かつた三宮神社の境内に、二、三軒の、セカンドランの小さな映画館があつただけだったのでも行かなければならなかつた。

新開地のキネマ俱楽部や朝日館は神戸で一流の洋画封切館であつたし、劇場も聚楽館は、東京の帝劇と共に日本一の立派な新しい洋風劇場で、新劇や日本を訪れる外国の一流芸能人や音楽家はこ

の聚楽館で公演し、松竹劇場は、歌舞伎や新派など、東京、大阪の一流劇団をいつも上演して、華やかな立派な劇場だったが、この新開地もまた今は遠くなつてしまつた。

その時はまだ、阪急電車は神戸の終点駅が上筒井だったので、そこから市電で新開地まで出かけた。バスなどもまだなくて、タクシーもなかつたようと思う、あつたとしても少なく、高かつたので乗らなかつたのか、タクシーで乗りつけた記憶はなく、いつもチンチン電車で、停留所がたくさんあるので延々と新開地まで三、四十分位かかつて行つたと思う。

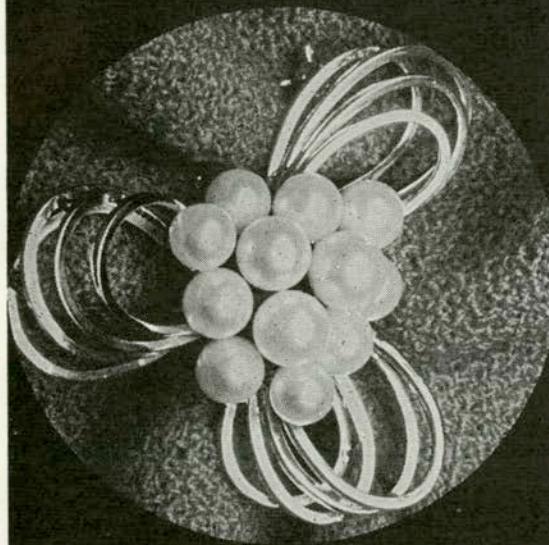
戦前は映画も芝居も興業時間がのんびりと長かつたので、冬など十時過ぎに終演で、新開地から上筒井まで帰る電車の中が寒くて、靴の中の足の指先が冷たかつたことを憶えている。

大阪でも芝居や映画は、まだ北の梅田界隈にはなく、南の道頓堀まで、やはり電車で梅田からでかけなくてはならない時代だったから、私は映画は大阪より神戸へよく行つて見た。私の妻が兵庫生れの神戸ッ子のためもあるが、私は映画や芝居の帰りに元町を歩くのが楽しみだつたし、映画見物でない時でも私はよく神戸へ出かけた。

私は宝塚へ来てすでに四十数年になるけれど、ずっと伊丹に住んでるので、今でも神戸は遊びに行く所のようだ、遠い感じがするのだが、こうして昔の話をしていると、私も神戸とは長い繋りが出来ているのだなと思う。そしてふる里の遠い思い出をたどつてあるようだ。

*Kitamura Pearls*

世界の人々に愛される  
キタムラパール

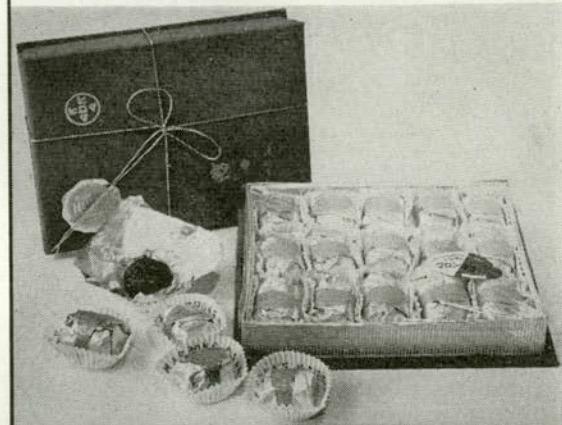


北村真珠株式会社

神戸：元町店 TEL (33) 0072

東京：スキヤ橋店 TEL <571>8032

マロングラッセは  
ヒロタの銘菓



洋菓子の  
**ヒロタ**

〈神戸〉元町店・三宮店・さんちか店  
秀品店

〈大阪〉梅新店・富国店・ウメダ店

大阪駅東口店・心斎橋店・戎橋店

ナンバ店・天王寺店・天満店・京橋店

守口店・新大阪駅店・淡路店・尼崎店

西尼崎店

流行をはこぶ  
ロンジン

特約店  
美田時計店

元町店・元町三丁目 TEL 33-1798  
三宮店・さんちかファンシータウン TEL 33-8798

楽しい夢のある  
ショッピングを！

トア・ロード店が新装開店…  
国産・舶来アクセサリー  
センスある品々  
ニュー・モードがいっぱいです  
ぜひお立ち寄り下さい。

コスチュームアクセサリーの店  
芸 げいむ 夢

神戸店／トアロード ③38643・2293  
大阪店／心斎橋ロビー (211)5153・1044  
心斎橋名店街(小丸ビル) 211-8503

このクラブは昭和二十九年七月六日に誕生した。メンバーは会社員、公務員と3人の大学生の計十人であった。昭和二十六年、神戸Y.M.C.A.体育部が一般人を対象としたヨット講習会を西宮で開催、同二十七年にも国体出場経験のある石合靖民氏をリーダーとしてすすめられ、A級ディンギー艇を購入、小豆島のY.M.C.A.キャンプ場で、またキャンプ前にも西宮で講習会が開かれた。同二十八年にもA級ディンギー艇を購入した。この三年間に講習会参加者は約三〇〇名にのぼり、2回、3回と続けて受講する熱心な人たち

▼ある集い▲その足あと  
神戸Y.M.C.A.  
ヨットクラブ



このクラブは昭和二十九年七月六日に誕生した。メンバーは会社員、公務員と3人の大学生の計十人であった。昭和二十六年、神戸Y.M.C.A.体育部が一般人を対象としたヨット講習会を西宮で開催、同二十七年にも国体出場経験のある石合靖民氏をリーダーとしてすすめられ、A級ディンギー艇を購入、小豆島のY.M.C.A.キャンプ場で、またキャンプ前にも西宮で講習会が開かれた。この三年間に講習会参加者は約三〇〇名にのぼり、2回、3回と続けて受講する熱心な人たち

の間でいつとはなしにクラブを作つて本格的にヨットに乗りたいといふ声が高まり、指導者の石合靖民氏を中心に受講者数名が発起人となり、その熱意によつてスタートする運びとなつた。

しかし、購入したヨット二艇は余島キャンプ場にあり、ヨットを持たないヨットクラブが生まれたそこで余島でヨットキャンプを行ない、貸ヨット三艇を含む計五艇を使用して、キャンプ参加者女子2名を含む十七名は、朝はまだ薄暗い5時前から起きて朝食までの三時間日中は勿論のこと夕食後はナイトセイリングと称して十一時ごろまで海岸に目印のたき火をもやしながら乗り続けた。やがて二年目、三年目を迎えて、艇庫が必要であったことから新開地のウエストキヤンブ地跡に建つてたかまほこ型の米兵舎を手に入れることができた。つづいて戦前普及しかけたことのある瀬戸内海6米型I・S型という大型ヨットを中古ではあったがメンバーの寄金や借金の3カ月分割払で購入することができ、クラブ設立以来、やつとクラブの艇を持つことができた。

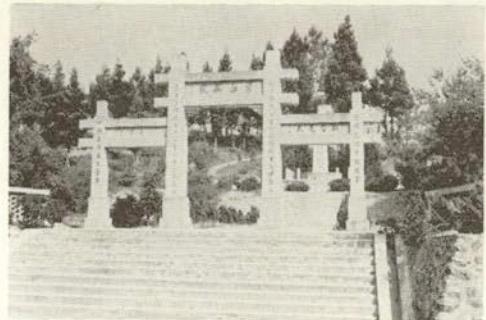
この年、西宮港で開かれた国体でメンバーの鈴木照子さんが一般女子代表として初参加できた。こうして昭和三十一年はクラブ設立三年目とあって、I・S型購入、艇庫の建設、ディンギーの体育部移管と飛躍の年ではあった。会員も四十名近くにもなり、二艇のディンギーも購入、国体にも県代表を送ることができた。

しかし昭和三十八年、クラブ発足十年目の十周年記念行事の矢先、練習中に転覆したディンギーを救助に行つたスナイプが救助作業中に舵を流失クルーの末陰敏男君とそれを助けようとした前岸敬一君の二名は帰らぬ人となつた。この事故が、海のこわさを如実に教えてくれ救助艇の建造、海上では必ずライフジャケットを着用するというルールがつくられた。

昭和三十九年九月、台風二〇号に見舞われ、防潮堤のうえへ小型艇は引きあげ、タリホーを四方へもやいをつけたが、艇庫は押しながら全滅。タリホーは森繁さんの富士山丸とともに流されて沈没。再び出発点にもどつた。

同クラブに兵庫県スポーツ功労団体として表彰されているが、同クラブ員はこの賞は現在のメンバーだけが受けたのではなく、過去に在籍したすべてのメンバーとともに受けるべきもので、この栄誉を永久的に将来のメンバーへ引き継いで行く義務が私達に課せられてゐると思いますといつてゐる。

## □ 隨想二題 □



### 日本人の眼は 曇つとる

春木一夫

（作家）

台湾土産  
台湾にいくといふ、いろんな人が知恵をさすってくれた。向うのホテルはスリッパがないから、持つていくといふのである。一週間前に、東南アジア、台湾を買って帰ってきたといふので信頼した。ごていねいに、皮のスリッパを買って、持参したのである。ところがだ。台湾全土を歩いて

見、一ヶ月間あちこちのホテルや旅館に泊ったが、どこにでもスリッパはそろえてあった。海拔二千メートル以上の阿里山のボロ宿でも、花蓮港の三百円の木質ホテルでも、ワラであんだスリッパが用意されている。皮のものがほしければ、カバン屋にいけば、いくらでも売っている。その他、シャツ、靴下でも不足どころか、今や生産過剩で、困っているほどだ。

軍人の姿を台北では見かけません。平和なんですか、といった人がある。ある県のロータリー俱楽部の会長だ。一週間滞在して、五日前に帰ってきたという。ところが、これまた大ウソ。台北では、いたるところに、憲兵がヘルメットをかぶって立っている。バスには兵隊が十人ぐらい乗っていることがある。町中を散歩するもの。新兵を引率していくもの。軍人がいないどころか、制服があふれており、映画館でも、軍人の特別割引をやっている。何が平和なんだといったかった。

話を聞いたうちで当っていたのは、大陸の料理が全部台湾でたべられます、ということである。北京、上海、廣東、湖南、四川。どんな料理でも、日本の値段の半分か三分の一でたべられる。蒙古料理もあったが、これはインチキ。それでも、鹿の肉とは珍しかった。台北でギョーザは一つ四十銭。（日本円で三円六十銭）。十個で四十円。ほとんどが水ギョーザで、焼いたものは少ない。

丸公園で、ヘビの吸物と生ギモをたべてみた。大してうまいものではないが、眼がはつきりしてきた。この調子なら、ご婦人の方の服もすけて見えるかも知れないと、大小あわせて三つたべたが、その效能のなかつたのは残念である。台中から霧社にいく途中に、埔里というところがある。台湾の中心地點で、日本の軽井沢といった避暑地だ。美人と紹興酒の産地で野球の王選手ととかくの噂さのあつた張美<sup>エ</sup>の生れたところ。彼女は製茶工場の女工をしていたが映画会社にスカウトされて、スターになつた。ここでは珍しく、淡水魚の刺身がたべられる。鯛やマグロなど、海の魚はどこでも売っているが、淡水魚はここだけ。鯉によく似た味で、身はうす桃色をしている。

台湾の女性はきれいだと聞いていたが、なるほど、若い女性は美しい。どうして婆になると、あんなに不格好になるんだらうと思うぐらいた。第一、姿勢がよい。日本人のようにならぬではない。脚もヒザ小僧がとび出しているのと達

い、すらりと形よく伸びている。その上に、曲線美豊かな上体があり、オッパイがぐっとつき出している。顔が小さく、鼻がそり反っているので、小柄に見える。デパートガールに、十五かとたずねたら、わたし二十ほどにらまれた。



## パーマンで デートしましょう

森口博夫

（神戸製鋼所広報課長）

はなやかなマーチ、眼を見張る衣裳行列、夕やみをあざむく電飾五月十四日のカーニバルはまことに国際都市神戸の面目をほどこした、たのしい行事でした。徳島の阿波おどり、仙台の七夕祭、京都の葵まつりや祇園まつりというように、神戸にも何か欲しいという気持は全市民の胸の中にくすぶっていたことと思います。たまたま、開港百年記念行事として計画されたのですが、港まつり以上のパンチのある、すなわち観光客を引張ることができたカーニバルを当

局の方々は考えられていると存じます。このためには、来年はどんな方針で実施するのかということなどは、暑くなるまえにはつきりさせておかないと、消化不良のカーニバルになります。市民としては、カーニバルならカーニバルで、それに取材されるカーニバルであることを期待していましょう。そして、カーニバルといえばリオデジャネイロといわれる、このレベルまで力を入れるべきだとお考えで

神戸市としての姿勢を早く知りたいところです。

さて、今年のカーニバルにどういう参加をするかということで、私たちも鳩首しました。電飾アドバルンとか、飾りつけトラックとか、風船を配ろうとか、いろいろアイデアがでてきましたが、私は、「神戸にマンガ通りをつくろう」と提唱しました。ある通り（東遊園地の西側、北側など）を指定して、そこにマンガをかきつけていくのです（消えないもの）。この地域だけは車を通さず、子供たちだけの落書きストリートをもかねます。

ハリウッドでは、有名な監督や俳優の名前が舗道の中に星（スター

）とともに書きこんであります。また、チャイニーズ・グローマン・シアターでは、例のアカデミー俳優の手形、足形がフロアーに並べてありました。

神戸のマンガ通り、そこに書き

こまれた作品はマンガ界でも権威あるものとし、日本のみならず海外のものも収容する。そして、プラッセルの小便小僧、ニューヨークのエンパイヤビル、パリのエッフェル塔とともに、神戸のマンガ通り、マンガ博物館に育てあげる。毎年、子供の日には盛大にマンガ祭りをやる（もちろん、マンガの親スポーツ協力、オバOの不二家など）。だんだん、夢がふくらんできます。

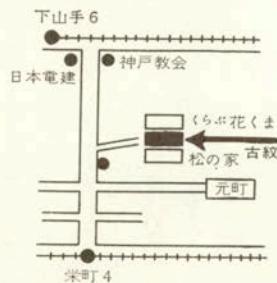
現在、神戸のセーリング・ボートは何か？と考えてみました。ボート・タワー、六甲山、夜景……もつと人間くさいものが必要です。それは、カーニバルでもマンガでもいいのです。マンガ通りは、世界でも前例を知りません。不幸にして、今年のカーニバルではマンガ通りができませんでなければ、来年はぜひ実現させてほしい。案外うまくいくような気もします。

「パーマンのところでまつててね。」というようなデート、いかしませんか。

割烹「古紋」は神戸・花隈に  
生れたカウンター形式の粹  
な日本料理のお店です。お  
気軽に季節料理を味わって  
いただける楽しい雰囲気。  
ぜひ一度おこし下さいませ。



神戸市生田区花隈町45  
でんわ ④ 0240



### おいろがき お料理

古紋	弁当	400円より
おま	かせ	1,800円より
古紋	ロッケ	300円
古紋	豆腐	500円
季節	一品料理	300円より

### お飲物

日本酒 (特級)	200円
ビール	100円より

古紋のお料理はきめこまかの風趣と格調たか  
い味覚。気軽に季節料理を味わってお食事をお  
集めください。

□ 神戸つ子対談 □

# 神戸つ子に欲しいバイタリティ

小尾 知愛

神戸本支店長

砂野 耕一 川崎重工業株式会社  
外船課長

★ 緑の深い町神戸  
砂野 支店長のお名前はたいへんおめずらしいのですが  
お生まれはどちらですか？

小尾 私が生まれたのは山梨県甲府ですが、父の仕事の  
関係で北海道へ行ったり、東京で住んだりしました。山  
梨県には古い家が残っていますが、まあ江戸暮しという  
ところでした。名前もめずらしいことはめずらしいです  
ね。先日も郵船の浅尾さんの息子さんと話していく、尾  
といふのは山の尾根ということで、きっと先祖が住んで

いた近くに浅い山があったので浅尾で、小さな山があつ  
たから小尾でしようと笑ったのですが、東京ですと電話  
帳をみても、かなりありますよ。

砂野 日銀にお入りになつてあちこちご転勤になられた  
と思いますが、ご勤務になられたのはどちらですか？

小尾 私は銀行入つて今年で二十六年目になります  
が、昭和十七年から昭和二十年までは兵隊に行つております  
から、銀行自身とすれば戦後派ですよ。地方勤務  
はこれで五ツ目になるんです。そのうち三ツが関西です



□ 小尾日銀神戸支店長

から居住性からいくと関西に縁がありますね。はじめて地方に行つたのが昭和二十七年で、東京をはなれて京都へ行きました。京都で一年をすごし、それから大阪。大阪で二年をすませ東京。それからしばらくして仙台へ行き、そこからもう一度、東京にもどつて今度は九州の大部分へ。それから東京に帰つて、そして神戸に来たと、たいへん振幅の激しい動きをしているのですが、振幅の激しいと同時に比較的北から南までの拡がりは長いといえますね。まあ兵庫県という関係からすれば大阪にいた二年間というものは西宮に住んでいましたから、日曜日になると、どちらかというと大阪へ行かずに神戸へ遊びに来ていましたからね（笑）神戸といつてもはじめて来た感じは全然しませんよ。

**砂野** 私は大学の間、東京へ行つてきましたが、あとはずっと神戸ですので、神戸だけしか知らないのですが、青年会議所に入りまして、中部、中国、四国、九州といつたところの人達と接觸することがあるのです。そこで非常に地域的な影響というのがあるよう思つてますよ。神戸の地理的影響というのも、我々は知らず知らずの間に受けているものと思うのですが、支店長は各地をお回りになつて、神戸の土地柄、人柄についてはどのようにお感じになりますか？

**小尾** 神戸に来て、まだ九ヵ月にしかなつていないのでまだそう深くはわからないので、もう少し時間をいたただきたいのですがね。しかしあまり時間をかけすぎると神戸っ子になりきってしまいますかね（笑）

### ★恵まれすぎている環境・気候風土でどう修練するか

**砂野** 原口市長がおっしゃっていたことなのですが、原口市長は九州の佐賀の方なのです、佐賀の気候条件、風土というものは非常にきびしいものだが、そのなかに自分の人間をつくりあげ、きたえられてきたということなのですね。その点で、神戸は自然条件にめぐまれすぎているためにはつておくとねばり気のない、根性のない

人ができやすい。だから自ら努力して修練に励めということをいわれたのです。たしかに私のところの従業員でも九州、東北、あるいは近畿から来ている人をそれぞれ比較してみると、性格的に多少違うことを感じ、気候風土、環境の影響を受けていると感じますが……。

**小尾** 自分の実感でそれだけのことがあるというところまで勇気はないのですが、たしかにその傾向はあり得ると思いますね。たとえば私が仙台にいたとき、その土地の人たちと話していますと、誠に表現は下手で、とつとつとして、こちらが言わないと反応が出てこないといふことなんですね。だから、よほど時間をかけて話さないと何を考へているのかよくわからない。閉ざされいる感じがあるんです。しかし、表現は下手であるけれど、何かやるときは非常にねばり強いといえます。めったなことはへこたれないのですね。それが神戸をみますとね、神戸の人と接してみるとたいへん開放的であるし、他の土地の人だからといふことなしにすぐ受け入れてくれる。だから、親しみはすぐ感じることが出来るわけでそれだけ開放性があるわけですね。しかし、たとえばその開放性というのが、仕事の面であるとか、生活の面でどう出てくるかということになると、また、別の意味があるかも知れません。それが原口市長のおっしゃったように危険性をはらんだ傾向があるのかも知れないという感じがしますね。でも神戸がいいところだと、いうことは万人が皆いうところで、それに異議をさしはさむ余地がない。私もそういうことを聞いて来てみたら、来たらだんだん、そのことを強く感じますね。よく海があつて山があつて、港があつて食べ物がうまいといいますが、まさにその通りで、それに対してオブジェクションは出でてくる余地はないですよ。しかも自分の生活をみてみましても、山と海は、よそに行つてもないことはないが、そこにはやはり都会がなくてはならないことがありますし、海にしては港がないとさびしいものです。それから山といつても裏山ではないのであって、六甲山程度



□ 砂野 耕一氏

の山でなくてはならないのですよ。それぞれ、それだけの規模を持つていて、そういうことにメリットがあると思うのです。単純な山とか海とかいうのではなくてね。

砂野 適当に文化人のいろんな欲求をまず満たしてくれるということですね。

小尾 東京から適当に離れているということもひとつのは、港と涙をたせば唄になるといわれるでしょう（笑）やはり、永い間の鎖国を経てきた日本人にとっては、港といえばそれだけでなにかイメージを与えるのでしょうか。それと、東京と横浜というのではなくて、自分の居住地のすぐそばにそれがあるという点でしょうね。

#### ★ 日本全体の視野で労働力・集中力の問題を考える

砂野 そうですね。最近よくいわれるのですが、神戸が国際的な貿易港として発展しなければならないといわれながら、港湾設備を中心的に今まで用を足してきたと思うのです。しかしながら、そこに経済の動きを集め、ひとつまとまった中心にならうとする努力が欠けていたような感じがいたしましたね。

小尾 こういい方は神戸の人たちにとって、ふさわしくないかも知れませんが、いろんな意味で、今後どう

域経済圏に境い目がなくなっていくと思うのですよ。境い目があるというのは遅れている点があるから、すき間があるので、密度が高くなればなるほど境い目がなくなってくるのですよ。つまり神戸のことだけを考えるだけではなしに、その拡がった範囲のなかの神戸を考えるなら考える。しかし、ほんとに考えるべきことは神戸はさることながら、拡がった地域自身を考えいかなければならぬのではないかという感じがしますね。問題の目のつけどころが、神戸にとってプラスになるのかマイナスであるのかということであってはいけませんね。

砂野 西日本経済全体として、どういう風に進んでいくかという点についていかがでしよう。

小尾 それらはすでにそれぞれが産業的地域というのはあるわけですね。いやでも陸地には農業があるし、海上には港がある。港があればそれに付随した産業もついてきているということです。だから、それを相当に生かしていかなければならないということも事実ですよ。同時に日本全体の問題とも関連する、たとえば日本の発展は都市に集中するということです。極端にいうと、東京・大阪に集中する。しかし現在の姿は反面で集中をしながらも、もう一度分散化するという動きがある。たとえば労働力の問題もあるし、土地の価格という問題もあります。だから日本全体の労働力の問題と集中力の問題を全体的に考えなければならないでしょうしね。なかなかむずかしい問題ですが、単に神戸だと、単に西日本だけということではなくてはならないことを教えてくれることは事実でしょうね。

#### ★ バイオニア精神から前進してバイタリティー・神戸に

砂野 今後の方向に對してリーダーシップをとつてゆくために神戸の経済人として考へるべき点について……

小尾 めぐまれていうという事に甘んじてしまつという傾向はあるんでしょうね。それは経済人としても放つて

おくとそななるでしょう。まあ、私の方の職場でみましても全国の日本銀行でも、どこの職場へ行きたいかというと、おそらく神戸へというのが、大部分あると思うのですよ。これは一般的にそうでしょう。という事はなかにいる人間は泰平ムードに陥ち入る危険性があると思うのですよ。職場の雰囲気としましてもね。これをもう少し広くいうと、神戸全体にも通用するかも知れませんね。つまり、住み良さという事に慣れてしまっているのでしょうかね。そこでそういう泰平ムードと地盤沈下をなんとかしなければというインフェリオリティ・コンプレックストと二つのミックスした気持が、思いきったことをするよりも、小さくスマートにかたまつてしまふという危険性を持つてゐるのではないか。こういうローカルカラーはいつかは破れた方がいいかも知れないと思うのですねしかし、破られた方がいいという事は神戸の良さが少々は損なわれても、長い目でみればもう少し、バイタリティーに富んでいる方がいいのじゃないかと思うのです。よく神戸の街を歩いていて、昔の六甲はもつと木が多くてきれいだったが、最近は団地なんかが増えて、汚れてしまったという人もいますがね。そりや、私も自然というものをなるべくこわしてもらいたくないとは思いますが、やはり、自然が美しいというのは人間が住んでいて適当な居住性というものの上に立ってはじめて、自然があつていいので、人間が住めなくなつた過程にあつていくら風物があつても全く意味がないと思いますね。ですから、多少六甲の山肌が損なわれても、目をつむつて居住性ということに目を向けることが大切なんじゃないかと思いますね。また、それ位のことをのみこんでいくだけの力を持たなければならぬと思います。

砂野 こじんまりと昔からのものを守つていくというだけではいけないですね。

小尾 そうです。従来なかにいる人には楽しいかも知れませんが、新しい発展ということは望めないかも知れませんね。私はこの間、テレビを見ていますと、NHKで

の「新日本紀行」で神戸を取りあげていましたね。あれの結論は、神戸はバイオニア精神に富んでいるということでしたが、神戸のためには非常に好意的な見方ですよ。バイオニア精神ではあるのですが、もう一步先に出るだけのバイタリティーがほしいと思うのですよ。バイオニアだけで終るのではなく、それが実力となつて盛りあがるだけのバイタリティーが後からくつついでいるだけのバイタリティーがほしいと思うのですね。

砂野 そういう点で、我々は日々反省はしているのですが(笑)。

小尾 たとえば、九州にしても、東北にしても、置かれている環境は決して良くないわけですね。その恵まれていない環境をどのようにして克服するかというか、いずれも後進地域の最大の問題点ですね。それは時としてうわすべりをする危険性もあるが、飛躍をする可能性があるわけで、なんとか、こういう悪条件を人間の知恵で克服しないといけないのだと、そういう意味の意欲は、私はやはり買うべきだと思うのですよ。九州でも東北でも同じですよ。だからこれを神戸に持つてみると、このいい条件をもつともつと生かすようを考えられるべきだと思います。その辺では後進地域にいたことがあるからよけいにそう感じるのですよ。いいすぎかも知れませんが、小さく安住するのはもつてのほかで、他がそれだけの努力をやつているという彼等の努力に比べれば、なすべきところはまだまだあると思いますね。

砂野 ただ手をこまねいてみるのではなく、何とかやつてみようということを体で感じているかどうかですね。

小尾 それに地元の人たちが、そういう考えに一丸となつた考えをするかどうかということです。皆さんがマイペースだけでなく、多少、人より遅れたり、また、かけ足になつても集団という力になり得るかどうかというこ



## ■ 技術ジャーナル

### コンテナ

諸岡 博 熊  
△神戸市調査室副主幹

物をスマートに運ぶ技術としてユニーク・ロード・システムの利用が叫ばれているが、コンテナリゼーションは、その一単位として発達した技術とみるべきであろう。

国鉄で使用されているコンテナは、いわゆる国際規格でいうと、 $8 \times 8 \times 10$ （五トン）という小型で、狭い日本の道路や国土事情に合わせたものといえる。

ところが、欧州では五年程前にアメリカでは十年程前に国際規格について、ジャネーブに本部のある国際標準化機構で検討を始めた現在の規格としては、 $8 \times 8 \times 10$ （十トン）、 $8 \times 8 \times 20$ （二十トン）、 $8 \times 8 \times 30$ （二十五トン）、 $8 \times 8 \times 40$ （三十トン）の四種類に大別されている。ちなみに、 $8 \times 8 \times 10$ という数字はフットで示され、トン数は荷重で、コンテナの自重は含まれていない。

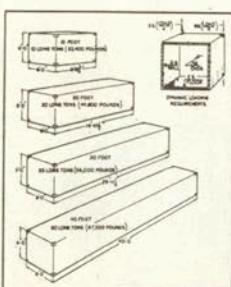
このような大型コンテナになると、国際用と国内用とにさらに細分されるが、いずれも専門業者がいる。コンテナは、アメリカ向いが主で、機械、陶磁器、織物製品、玩具、食品などが利用している。目下、神戸港で取り扱われているコンテナは、アメリカ向

る。

コンテナの利点となるものは、なんといつてもドア・ツー・ドアの便利さであろうが、専門家間では、(1)荷造包装費の節減、(2)運賃の低減、(3)荷物事故の低減、(4)運送保険料の低減などを長所としてあげている。国際コンテナの使用はこの秋から本格的に始まるといわれているが、もうすでに神戸港では変則的な取り扱いとして一部で使用されている。いわゆるフル

・コンテナ船はアメリカの大コンテナ船会社であるマツソン社とシーランド社が、日・米間のビスコンテナ輸送に配船してくるので、日本側も自衛上、船会社は出血を覚悟で、コンテナ船の建造やコンテナ容器の製作等に大わらわである。神戸に本年設立される阪神外貿埠頭公団はコンテナ・ショックに対応して考えられたものである。

海外におけるコンテナ輸送なるものはその発生からみると、国内輸送から沿岸輸送へと発展し、最後に国際間輸送へと変化してきた。このため、国内の輸送路（鉄道、道路、水路、空路）は、これに適するような施設が設けられ、輸送の効率化、合理化が進んでいく。これに反し、日本の場合、リースとかレンタルが発達してい、輸送が細々と小型のコンテナを使用しているのみで、国内の輸送施設については大型コンテナに適していない。悪いところには、一番難しい国際間に輸送がかかるなり本格的に取り組んでいく。そのため、最大の原因で国内の道路事情をどう根本的に変化させ対応するか、その



Basic and maximum load units of larger institutions adopted in 1960 and units by the International Standard Organization (ISO) after the 1st plenary meeting of the International Organization for Standardization in the U.S. and Europe.

整備方法についてすら、考えが及んでいない。コンテナ集配のためのインランド・デボ・フライトステーション、トラック・ターミナルさらに高速道路構造規格そして、トレーラーの改善など、国際コンテナから強いられた国内問題処理が大変なこととなっている。

最後にコンテナの種類を説明しよう。

●シート・コンテナ：ビニールキャビン・バスなどを用いたゴム袋状のもので、粉体、液体の輸送に使用される。船外では返送時に折りたたみ容積を小さくできるフレキシブル・シート・コンテナ（リターン・ローリー）に使用される。内包装によって、常温で固化するもしくは表面を保温保冷している。

●タンク・コンテナ：タンク・コンテナがこれに応用されている。タンク・コンテナ（リターン・ローリー）に用いられる。内包装によって、常温で固化するもしくは表面を保温保冷している。

●冷凍・コンテナ：輸送途中保冷をする品物用に考えられたもので、主としてアイスクリー、冷凍肉などの輸送に用いられている。温度コントロールができるので青果物の輸送に利用されている。

●雑貨（ドライ・カーゴ）：コンテナ＝ $8 \times 8 \times 20$ とてて説明してきたもので、型が長方体のため積み込みが難しく、そのため船体構造からまた、ぎっしりとコンテナも積み込むことができない。つまり、フルコンテナ船としての全体で約二十分の一セント程、容積において損をすることとなる。このあたりが、今後の改良点であろう。

●のトラック・コンテナ：重量物運搬用のフル・ロード・ベッド・コンテナは、重量物運搬用のフル・ロード・ベッド・コンテナは、自動車などを積み込める。

# ・パイオニア神戸

（7）

## 六甲市長

★アーサー・ヘスケス  
グルームの伝

岸 百艸



ることに、意見の一一致をみた。

性急なジョンブルは、なんの顧慮するところもなく、

昵懃な県知事服部一三の許可を請うて、長男龜太郎名儀

をもって借地権を獲得するや、いち早く、東明浜の大工

平吉に、和洋を兼ねた平家二棟（後一度全焼、直ちに再

建）を建てさせた。磊塊たる三国岩を背に、後年グル

ム池といわれた三国池をふところにして、この年六月六

甲山顕の第一号山荘として、百一屋敷は名乗りをあげた

のである。

彼ほど六甲を愛したものは、その後においても見ない

のではないか。常に鋸とともに、先に鋭利な鉄のついた

ステッキを携えて、雜木の枝を掃い、しこ草の根を切り

とり、わずかな紙屑にも、自他ともにこれを許さない、

潔癖をもつづけていたのは彼をおいて他にあるまい。

マイコ（舞子）を先頭にして、五、六びきの獵犬が、獲ものを追つて走っていた。

いつものことだが異邦人グルームにとって、この背山の狩りくらは、またとない愉しみの一つになつていた。たまたま一日、雉を追つて登りつめた時、はしなくもそこに雉・鹿・猿よりも大きな獲ものを見出したのである。

海拔九〇〇米——むし暑い都会地より一〇度も低く、しかもあまり乗りもの必要を見ないですから、いわば、うち庭の延長にもひとしいところに、ほいままに涼が得られよとは。関西の軽井沢とするには、まったくおあつらえ向きにできている。

明治二八年（一八九五）彼は、親友のドクター・ソーニイ・クラフトと、六甲山が避暑地として好適の地であ

五毛村から登って、オランダ人エリオンさんのビル腹が参ったという *Ailions Ruh* を経て、メリフィッシュユが駕丁のために、谿川のせせらぎに、竹筒を刺しこんで飲み水にした *Meihuis Alms* から、ここまで来ると、客も駕丁も一服するのが、おきまりになっていた

*Flat Stone* そこから徳川道に入るとこが *Newmens Pocket* といって、英人 H・C・ニューメンという肥大漢が、小雨と、霧に襲われた二人の老嫗を、左右のボケットに入れるように庇護しながら、一夜を明したところから、この岩の上に佇って振りかえると、登つて来る後人の姿が一望の中に見える *Husband Stone* を突つくると、そこにあるのが百一旦那の山荘なのだ。

五毛村の農民を動員して、この一間巾にも満たない八重むぐらの小径を切り拓くに要した私費が、正に一金百円也というから、世の中のあたじけなさも押して知るべきだろう。

グルームのうまい勧誘によつて、六甲山上には、ちゃんとやくとして、外人部落が形成されていった。

日露戦争当時は、小倉庄太郎が日本人として、唯一の山荘の持ち主であったのが、明治四三年（一九一〇）には、英人二八戸、独人九戸、米人四戸、仏人二戸、白人一戸に対して、邦人一二戸を数えるにいたつては、また盛んなるかなといわざるを得ない。

明治三六年五月二十四日（一九〇三）県知事服部一三の処女ドライブによつて、はなやかな開場の式典をあげた神戸ゴルフ俱楽部。こんにちの隆盛も、惜しみなく一切をあげて、公共のもたらしめた グルームの襟度の賜物である。

五毛・石屋川・住吉の壮夫百数十名の駕丁が競い、有野・唐櫛の疲へいした山村の農民が、この山上の開発によつて、どれほど生活の安堵を得たか。彼らの総意によつて創建された、今はなきかつての「六甲開祖之碑」こそ、その間の申したてを、ものがたるものではないだらうか。かりにもし、山を愛することを知らない、一部日

本人の手によつて、開発の鍼が握られていたなら、今の涼爽たる六甲のすがたかたちはあつただらうか。そぞろ寒氣だつおもいである。六甲市長の仮称またゆえなきにしもあらずだ。

グルームの生誕は一八四六年九月二十二日（弘化三年、恰も孝明天皇が践祚された年）英京ロンドン市外のセモアーといわれている。五大洋にユニオンジャックの旗風のひるがえらぬところのないといわれる、英國魂の血をうけた彼として、安閑として家郷にせぐまつている手はあるまい。すでに、長兄のフランクは上海にあって、貿易商社を興しているにおいておやである。

彼の来朝した年譜については、明確な証しとなるものはないが、彼が落合した一九一八年には、彼と彼の妻、宮崎直のために、九月二十二日を下して、金婚式を挙げる予定が、家族一同の間に計画されていた事実から類推してその月日は不明にしても、明治元年九月以前とするには大過はないであろう。

今刻、ドン・ロドリゲスの黄金島発見の夢ものがたりでもあるまいが、彼の若きいぢずな心は、兄の足跡を追つて、東洋の新天地を馳けめぐつていたに違いない。多分、兄フランクの指しがねによつたのであらう。彼はまず、長崎に来朝の第一歩を印すと、マダム・バタフライで有名な怪商グラバー邸の人となつたのである。

当時の開港地は山犬のよな擾夷党の潜入地帯で、肩を怒らせ、まなじりを決した朱鞠が、どこからともなく鞠走ろうという、危険きわまりない明け昏れをつづけていた。この通り魔にはさすが勇猛剛気なジョンブルの商グルームも、胆を寒からしめたこと一再ならずとは、後日よく家人に笑いながら話したことだ。

長崎に腰を落ちつけるいとまもなく、彼はグラバーホー会の一出張員として、開港直後の神戸に送られて来た。そこで、彼の始めて得た日本人の知己こそ、現栄町二電停西南角の（前山下汽船本社、現安田銀行）地に商社を開いていた兵庫の網元、川西善兵衛その人である。グルームも、胆を寒からしめたこと一再ならずとは、後

彼の牙城とした、関内居留地の英一番館の写真は今も保存されているが、どこかの廃仏棄釈のために身売りされたらしい、豪壯な伽籬の表がまえである。外国人の誰もがするように、生糸と緑茶を買いつけることが、彼の貿易商社の主体だった。

横浜在住一〇年、彼はこの地で、次男米吉、四男久吉次女花、五男英吉と四人の愛兒を得ている。

二二年、居を再び神戸に移し、居留地播磨町の三四、



明治22年、グルームが神戸に移り住んだ中山手通二丁目の和洋二棟の二階屋

一ムが、元町三丁目の真宗の名刹善照寺に仮寓し、その和尚佐々木先住のすすめによって、大阪玉造の宮崎直と華燭の典を挙げたのも、新興貿易商として、グルームと接触した川西善兵衛の肝煎りではあるまいか。

事実、明治七年五月一日、大阪、神戸間の鉄道開通に先だって、善照寺を去ったグルームに、彼は自分の商社の筋向いにあつた角屋敷（のち台灣銀行となり土蔵造りの鴻池銀行となる）を推薦している。彼が、居留地江戸町の百一に本拠を構えたのは、その後のことである。

勿論、グラバーのきずなはとくに離れて、今は雄心ばつ勃たる一個の商館のあるじだった。グルームが横浜に進出したのは、明治一三年のことだ

どうも私の筆は、あまりに六甲にとらわれ過ぎていたようだ。この辺で、彼の事業の最大のものであつた精茶のことについて、少しく書き記そう。

～朝は三時から弁当箱さげて

開けておくれよ門番さんよ

今日の天保をもらわなきや

鍋釜へつつい総やすみ

箸と茶碗の隠れんば

飯もり杓子が隠れんば

お玉じやしが身を投げる

開港当時は、茶の乾燥も十分で、火入れ再製の必要も

なかつたが、その後、需要が伸びて来るにつれ、乾燥不

十分のため、おもわぬ損害を来たした外商は、以来、居留地内に再製場を設けることにした。それに加えて、上海より再製技術を会得している清国人を雇い、これに看貢

(拜見さんともナンバーワンともいう) という監督兼

支配権をあたえた。百一の茶倉では、番頭の能登弥吉と

後年独立して、生田神社の西セントマリヤ寺院の地に、

豪華な邸宅を構え、出するに二頭だての馬車を駆った、

俗称シキュウさんの麦少彭が采配をふるつていた。

ここで、彼の最後の事業となつたオリエンタル・ホテルについて少し語つておこう。

そもそもオリエンタル・ホテルの創建は、明治一五年、仏人ルイ・ペギュ

ーによって、彼の旧地居留地一〇一番

に、ホテル・ド・コロニー(通称居留地ホテル)の看板を掲げたのが最初である。

いくばくもなく同ホテルは、八〇番

に移転をし、続いて二六年、八七番に別館を A・N・ハンセルの設計の下

に建設し、初めてオリエンタル・ホテルと改名した。本館は地下室とともに

四階で、建坪は三〇〇余坪、最高の一

泊代金は五ドルという豪華さだった。

グルームはペギューよりオリエンタル・ホテルの買収に成功すると同時に、従来の経営を株式に改組し、明治三〇年撰ばれて初代社長となつた。

同四〇年、オリエンタル・ホテルは海岸沿いの六番地に移転をし、大人、ゲ・デ・ラ・ランデー設計になる新装、石造白亜の大殿堂を誇つた。楼上に、地球儀



(神戸史学会会員)

「英智院具理日夢居士」六甲の父グルームの墓は今も三  
国池近くにたたずんでいる。

△原文のまま△

に、彼の胸は膨らんでいたことだろう。

しかし、山の頂頭にも下降をたどらねばならない約束ごとを忘ることは出来ない。グルームの人生行路にも

人の世の哀しい旋は避けられなかつた。

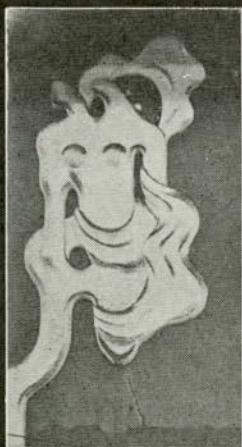
大正六年一月、オリエンタル・ホテルは遂に、東洋汽船会社の傘下に入らねばならなくなつていて。

大正六年(一九一七)クリスマスの夜、神戸俱楽部からの帰途、例の豪酒がわざわいして、不覚にも、同クラブの石段より転び落ちて、強く、右手頸を痛めたのが、不吉の前兆となつた。

年を越した正月二日に再び、彼の六尺三寸、二六貫の醉態は、支柱を喪つた一個の物体として、面部から奔る鮮血を満身に浴びて、折りから、スバル座の一際冴え返る寒天の下に投げ出されていた。

再び起つことの出来なくなつた、彼の背後には、すでに終演の幕は切つて落されていた。

一月九日「英智院具理日夢居士」享年七三。彼の多感な一生は日蓮宗の信徒の一人として茶毘に付されたのである。



Lady's Shop

*La Mode*

MOTOMACHI KOBE TEL 335689



*Akira Beauty Shop*



美容室

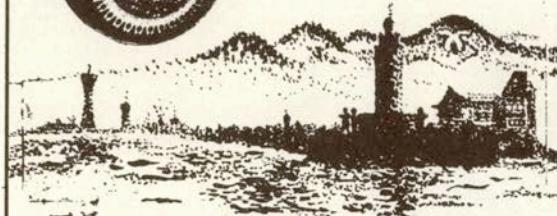
あきら

西野 明

電話予約制

三宮本通り TEL 334461 · 6458

エキゾチックな街  
神戸の生んだ  
キャンデーの最高峰  
**アーモンドロツキ-**



地中海のアーモンドと  
新鮮な生クリームの  
味のデュエット——



チョコレート\*キャンデー

**ゴンチャロフ**

神戸市生田区加納町4の1  
直売店 さんちかスイーツタウン・大丸  
そごう・三越・阪急・各百貨店



きものと細貨

**おんざら庵**

神戸

西店 / 三宮センター街・電話33-8836(代)

東店 / 三宮センター街・電話33-0629

三宮店 / さんちかタウン・電話39-4303

東京

銀座北店 / 銀座並木通り・電話573-5298(代)

銀座南店 / 銀座並木通り・電話572-4847

(京阪神銀座タウン)